

全国B.M.C.(全国宴会支配人協議会)からの月1回の通信です。

内容:

・新年のご挨拶

・2015年冬期総会

・北陸いいね

北陸 B.M.C.

編集後記

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。昨年は外国人旅行者の増加に伴い、ホテルの宿泊部門は好成績だったのではないのでしょうか。2015年のスタートは各地で大雪となりましたが、大きな被害も無くほっとしています。

他地区のことを知ってもらおうと2011年から始めたこのB.M.C. Timesも今号をもって最終とさせていただきます。各地区の会長の皆さまには忙しい中、投稿いただきありがとうございます。

会長に就任した2011-2012年の行動方針は「Do it」、そして2013-2014年は「挑戦」「変化」「成長」でし

た。延長して迎える2015年は「羊質虎皮からの脱却」キーワードは「やってみなはれ」とします。

「羊質虎皮」とは、外見ばかりが立派で中身がないこと。つまり見掛け倒しのことです。ホテル業界は、離職率の高さで注目されています。華々しい魅力ある業種だと思って入社したものの、現実には、付け刃的な新人教育を受け、配属後は上司の命令に従い、マニュアルに沿ってただ作業をこなすだけ。その結果やりがいや失い、辞めてしまうのではないのでしょうか。根性がないとか、適性がないと済ませてはいけません。

考えて行動することを教えましょう。マニュアルにないイレギュラーの場面を任せましょう。外見に伴った中身を作るのは、お客さまと直接接する「現場」です。現場の声を経営に活かすべきです。日本企業は現場力の高さで、高品質・高機能の商品を生み出してきました。その現場力を強くするために必要なのは、NHKの連続テレビ小説「マッサン」に登場する鴨居商店の大將の口癖「やってみなはれ」の精神ではないでしょうか。

以上
全国BMC
会長 伊藤 保

2015年冬期総会

2月2日、仙台国際ホテルにおいて全国 B.M.C.冬期総会が開催されます。会長会に続いて行なわれる研修会は、今話題のニッカウキスキー宮城峡蒸留所の見学が予定されています。

会長会は、各地区会長及び事務局長のみの参加ですが、研修会はフリー参加です。(バスで移動のため人数制限はありますが)この機会に参加してはいかがでしょうか。

総会の詳細(予定)をお知らせします。質問事項等があれば予め地区の事務局を通して全国BMC事務局まで連絡してください。

開催日:平成27年2月2日

会場:仙台国際ホテル

スケジュール:

会長会 13:30~15:30

研修会 15:45~18:45

※ニッカウキスキー宮城峡蒸留所見学

懇親会 19:00~

フレンドリーナイト 懇親会終了後

議題:

・全国BMC平成26年度事業報告

・全国BMC平成26年度会計報告

・全国BMC平成26年度監査報告

・全国BMC平成27年度役員体制について

・平成27年度運営について

1)平成27年度事業計画案

2)平成27年度予算案

3)平成27年度夏期研修会、若手コンペティションについて

4)「料飲業界の元気の出る集い」の開催について

・その他

全国BMC
会長 伊藤 保

北陸いいね！

北陸の湯上です。

新年明けましておめでとうございます。昨年中は北陸B.M.C.に、多数のご指導賜り厚く感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、「北陸いいね！」がやって参りました。12月の名古屋さん同様、「いいね！」を今まで多数書いてきました。もう無いかと思いきや、念願の「いいね！」がありました。県民が半世紀待ち望んだ「北陸新幹線！！」3月14日(土)に開通いたします。す

れ着工は富山までに短縮されたとのことです。2004年には金沢までの着工が認可され、フル規格も整備しました。後は着々と進み2013年には各列車の名前が決定。東京～金沢間の速達タイプは「かがやき」、停車タイプは「はくたか」、金沢～富山のシャトルタイプは「つるぎ」となりました。先日には発着時刻も発表され、3月14日の開業を待つのみとなりました。さて、開業効果は？富山県では開業効果のために予算を約20億みております。

編集後記

BMC Times もいよいよ最終号となりました。会員の皆さまに有益な情報をお届けしようと努めてまいりましたが思うようにはいかず、中途半端な記事が多かったように思います。各地区的会長の投稿のおかげで、なんとか読み物として耐えられるものになりました。時間があれば読み直してください。そして各地区に興味を持たれたら、納涼例会、忘年例会、新年例会などに参加してください。地域の交流は、新しい何かを生み出してくれるもの

でに開通している都府県から見ると、「なんだ今頃」と思われる方が多々いらっしゃると思います。私なりに勉強したことをお伝えします・・・実は開業までの道のりには長い歴史がありました。始まりは「1965年」、50年前(半世紀前)金沢市内にて当時の総理大臣佐藤氏出席のもと、富山県砺波市商工会議所会頭岩川氏から、北陸新幹線構想が発表されました。この時点では、東海道新幹線開業から1年足らずでした。1970年に全国新幹線

施作は①地域資源魅力のブラッシュアップ②観光誘客と定住・半定住の促進③富山の魅力、創造と発信④おもてなし力の向上など県民機運の醸成等々・・・おもしろいのは④。ある観光客がタクシーに乗った時のこと。「運転手さん、富山の観光ですが面白い所はどこですか」「お客さん、富山はなんもないです。あれば私が行きたいです。」これにはびっくり。言わずとも皆さんも苦笑ですよ。ということで、県知事政策局もおもてなしドライバー

鉄道整備法が制定。2年後に「北陸新幹線」基本計画が決定しました。ルートはご存じの通り長野～富山間は山が多くルート検討は困難で、結果上越経由になりました。しかしながら、オイルショック等で建設費高騰の影響により、中々進まなかったようです。2000年、当時の首相は石川県の森氏。新幹線建設促進議員連盟会長でもあり、地元金沢までの着工を押しも道路族代表する橋本派の野中氏(当時自民党幹事長)に、「我田引鉄」と非難さ

の養成に動き出した次第。いずれにしても我々のもっとも大事といえる「おもてなし力」は、ますますレベルアップには良い機会です。東京～富山2時間8分。東京～金沢2時間28分。みなさんも北陸地区が近くなったので、ぜひお待ちいたしております。「おもてなし力」がどれだけアップされているかチェックしてください。

北陸B.M.C.会長
湯上 均

全国 B.M.C.

2013-2014 年度会長

ホテルグランヴィア京都
伊藤 保

〒600-8216
京都市下京区烏丸通
塩小路下る東塩小路町 901
京都駅ビル内

[TEL:075-344-8888](tel:075-344-8888)

FAX:075-344-4400

E-MAIL:
ito@granvia-kyoto.co.jp

Web サイト

URL:
<http://www.e-bmc.com/>

です。是非、各地区の例会開催情報をメーリングリストを活用して発信してください。

それにしてもあつという間の4年間でした。スタート直後に東日本大震災が発生。その後も、メニューの誤表記問題など、宴会料飲部門にとっては苦しい時期となりました。それでも、若手コンペティションを継続して開催することができたことは、非常に良かったと思います。回を重ねる毎に、選手のレベルが上がっていることに驚いています。

今号の冒頭でも書きましたが、やはりこれからは若手の力をいかに活かすかが大事です。

一言でいうと「オペレーション力」＝「現場力」をつけるということです。そのためには、現場が自ら判断して行動できる環境と社風を作ることから始めましょう。

最後に、4年間お付き合いいただきありがとうございます。今後もしよろしくお願いたします。

伊藤